



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

学校教育目標 「自ら学ぶ子供」

R4,7,14 No,12

「キャッチフレーズ」って？

7月5日（火）、5年1組の子供たちは、「キャッチフレーズの作り方」について、八代市立図書館所属のお二人から専門的な知識を学びました。

これは、国語科の単元（「同じ作家の2つの物語を読んで理解したこと

に基づいて、自分の考えをまとめる」）の学習において、自分の考えをキャッチフレーズで表現する学習の一環でお招きしたものです。

子供たちは、とても分かり易い説明をうなずきながら聞くなど真剣に取り組み、キャッチフレーズづくりのポイントを理解していました。

そして、翌日（6日）には、学力向上に向けた校内授業研究会が5年1組で行われました。子供たちは、学んだことを基に自信をもって学習を進めていました。



体育館に大きなプラネタリウムが出現！

7月11日（月）、体育館に大きなプラネタリウムが出現しました。

これは、4年生の理科の学習の一環で、「さかもと八竜天文台」から、台長と学芸員のお二人が、搬入、設置されたものです。

子供たちは、プラネタリ

ウムの中に入って、星の動きなどについて、観察したり、説明を聞いたりしました。また、併せてペットボトルロケットを使った空気の学習も行っていただき、専門的な知識を学びました。

どの子供も、目を輝かせ、興味津々に学習に取り組み、多くのことを知り、考えていました。

※ドーム内は、常に大型送風機で空気が送られ換気は十分にされています。



子供たちに不織布マスクをいただきました

7月11日（月）、八代校区福祉推進協議会から、全ての子供に、不織布マスク1箱が寄贈されましたことをお知らせします。当日は、本会を代表してお二人が来校され、「子供たちの健康を守るためにマスクを持ってきました」と述べられ、ご寄贈されました。

まだまだ、予断を許さない感染状況の中、不織布マスクのご寄贈に心より感謝いたします。いただいた不織布マスクは、早速活用できるように、本日までに全て配付しました。

